

安佐北区 2月11日(水)安佐北区総合福祉センターで「**忘れない！未来に笑顔つなげよう！！**復興すまいるフェスタ」開催

学生が中心となり、地域の方、NPO団体、安佐北区復興連携センターすまいるのみんなで創りあげたイベントです。

軽食コーナーやステージでの催し物、防災クイズコーナー、ハンドマッサージ等、たくさんの「すまいる」が溢れるイベントとなりました。これからも、「つながり」を大切にし、活動を続けていきます。

今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

復興すまいるフェスタ



楽しいステージ！



ハンドマッサージのサービス



家族で雨量計づくり

願いを込めて竹灯ろうに点灯

つなぐプロジェクト

南三陸町からホタテが届きました

安佐南区 2月21日(土)佐東公民館で「**つなぐプロジェクト**」開催

このイベントは、8.20土砂災害を忘れず、ボランティア・NPOなどの各団体、住民、応援して下さる方みんながこれからもつながっていききたいという想いが込められています。

南三陸町から届いたホタテの提供や子ども向けクラフトなど、どなたでも参加しやすいように工夫されました。

夕方には、亡くなられた方への祈りや想いを込め、地元竹で作った灯ろうを点灯しました。

このイベントを通して、参加したみなさんが改めてつながりを感じることができたと思います。そのつながりを大切に支援していききたいと思います。

2月22日(日) 広島市ボランティア情報センター 利用者連絡会の学習会を開催しました！！ 14団体36名参加

今年度は、「広島市土砂災害から半年たった今」というテーマで、開催しました。初めに、災害ボランティアセンターの運営について報告があり、その後、「災害NGO結」代表の前原さんに「災害ボランティアとは何か？災害とは何か？」について8.20土砂災害活動をもとに講演していただきました。



元気いっぱいの笑顔でお出迎え



グループワークではたくさんの意見が出ました！

後半のグループワークでは「自分たちにできることってなんだろう？」「ボランティア団体としてできることは？」「災害が発生したらどんなことに困る？」などについて意見を出し合いました。

利用連には、当事者団体やボランティア団体が登録しています。だからこそ、当事者として困ること、気になること、ボランティア団体としてできることという意見交換ができ、お互いの立場から考えることができたのではないかと思います。

また、グループで意見を出し合い、自分で考えることにより、「他人事」から「自分事」に変わるきっかけになったのではないかと感じています。



講演の様子

ボランティア活動者インタビュー
広島県立皆実高等学校 衛生看護科

10年近く、フラワーフェスティバルや平和記念式典、マーガレットコンサートのボランティア活動に継続して参加いただいています。



今年8月6日の平和記念式典に8名の生徒さんが参加してくださいました。その中のお二人にインタビューしました。



平和記念式典でボランティア活動をしようと思ったきっかけは？

テレビで平和記念式典の様子を見ているときに、ボランティアさんが活動している場面を見たのがきっかけです。学校の授業で夏休み明けに車いすの介助授業があるので、経験を積みたいと思い、ボランティア活動に参加しようと思いました！

平和記念式典のボランティア活動に参加してみて感じたことは？

二人一組の活動だったのですが、ペアの方の姿から「車いすを利用しませんか」という声かけは、その方の表情や歩き方を見ながら行うことが大切だと感じ、取り入れていきたいと思いました。実際に車いすを押してみても、少しの下り坂でもスピードが出ることや、段差が上がりづらく、難しいと感じることもありましたが、利用者から「ありがとう！」と感謝され、とても嬉しかったです。

今後の夢や目標を教えてください。

将来の夢は看護師になることです。患者さんのことを考えられるような看護師を目指します。今回のボランティア活動を通して、車いすを利用している方が困っていたら、手助けできたらいいなと思います。

今後の夢や目標を教えてください。

将来の夢は看護師です。笑顔で明るくて、患者さんの立場に立って行動できる看護師になりたいです。今後もボランティア活動を続けていきたいと思っています。ボランティアをすることで、感謝の言葉をいただいたり、自分自身が学ぶこともたくさんあり、やりがいのあるものだと思います。



高野 あずみさん (衛生看護科1年生)

小原 史帆さん (衛生看護科1年生)